

## 石井国土交通大臣 八代港視察の報告

平成30年1月7日（日）に石井国土交通大臣が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定された八代港を視察されました。石井大臣は、前日の大分県内に続き、28年4月一昨年の熊本地震からの復旧工事が続く熊本城をはじめ熊本県内各地の視察の最後に、八代港を訪問されたものです。

八代港外港地区には、昨年11月に着工したクルーズ船専用岸壁となる県内初の「耐震強化岸壁」の整備が行われており、石井大臣は現地においてその整備状況や背後地の整備計画の説明を受けました。

国土交通本省から港湾局浅輪大臣官房技術参事官や増田九州地方整備局長・村岡副局長等が随行し、上谷熊本港湾・空港整備事務所長が現地での説明を行いました。石井大臣からは「クルーズ船のエクスカージョンの訪問先」や「耐震岸壁の設計内容」「駐車場や旅客施設の配置位置」などの質問が出され、整備計画に理解を示されました。

また、八代港の印象として景観も良く静穏であり、良い港であることや周囲に観光地があることの立地条件の良さを強調されていました。

その後マスコミ各社の取材を受け、「2020年度の供用開始に向けてしっかり整備を進めたい」と発言され、熊本空港から帰京されました。

### 【外港地区視察状況】



（写真1）外港地区での概要説明の様子



（写真2）外港地区での現場視察の様子